

〔『法学新報』第21巻3(240)号 明治44年3月1日〕

○中央大学学士会 中央大学の学士号を有する者及同大学出身者にして外国の学位若くは称号を有する者より成る中央大学学士会は去月二日午後六時より日本橋区亀島町諧楽園に開催せり 当日の会合は会員相互の親睦を計るの外重要な協議を為さん か為めなりしなり定刻に及び大場茂馬氏は当日協議の主題たる 母校の改革に関する建議に付き詳細なる説明を試み花井会長及 川島理事の賛成あり次て満場異議なく之を可決し之か実行委員 として大場茂馬、鈴木済美、川久保源治、川島仟司、高野金重 の五氏を選定せり斯くて学士詮衡の件に付き母校に建議するこ と、二月毎に一回母校に於て本会員の学術研究を開くこと及び 会員名簿を調製し且本会記事を作ることを議決し酒宴に移り各 自十二分の快を得て散会したり当日出席したるは花井卓藏、大 場茂馬、渡辺澄也、川久保源治、川島仟司、高窪喜八郎、高野 金重、鶴田惣、難波弁太郎、牧野賤男、松本修一、天野徳也、 佐々木高美、鈴木済美的諸氏なり尚ほ当日会則に依り役員の 改選を行ひたるに大場氏は会長に天野氏は理事に当選したり